

平成24年度「新入生の生活に関する調査」

第4回 「どのような新入生と保護者が奨学金を認知・希望しているか」

前回は「大学卒業後の進路展望と保護者の関与」についてご報告いたしました。その中で、子どもの就職や将来の進路に対する保護者の関与の高さが示され、新入生だけでなく保護者の存在も視野に入れた支援が必要なが明らかとなりました。そこで、今回は新入生と保護者の奨学金の認知や希望についてご報告したいと思います。

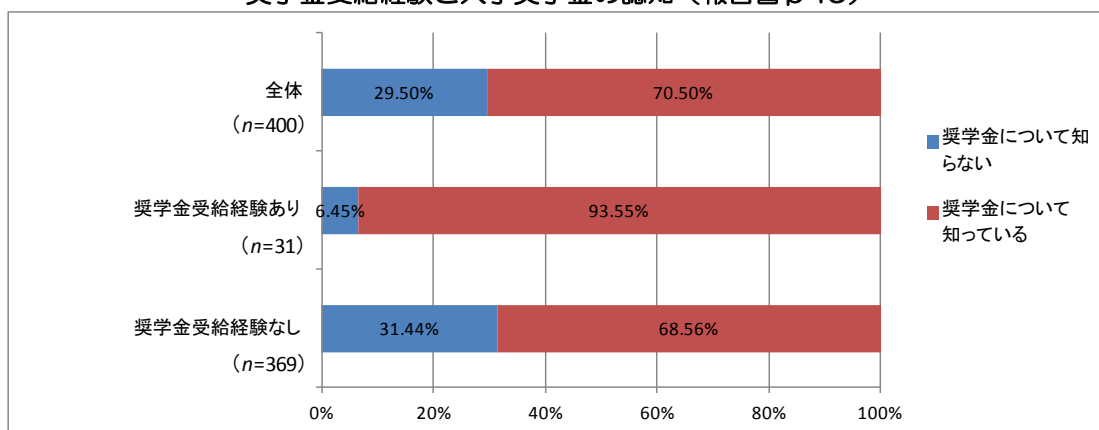
1. 新入生の結果

(1) 過去に奨学金受給経験がある者ほど、大学奨学金の認知度が高い

まず、新入生の奨学金の認知度を調べました。また、過去に奨学金を受給した経験がある者となない者として、大学奨学金の認知度が異なるのかを調べました。

その結果、全体では、約 7 割の新入生が大学奨学金について認知していることがわかりました。また、これまでに奨学金を受給した経験がある場合は、奨学金の認知度が高く、これまでに奨学金を受給した経験がない場合は、奨学金の認知度が低いことがわかりました。これは、昨年度と同様の結果であり、高校までの奨学金受給経験が、大学入学後の奨学金の認知にも関係しているものと考えられます。

奨学金受給経験と大学奨学金の認知（報告書 p49）

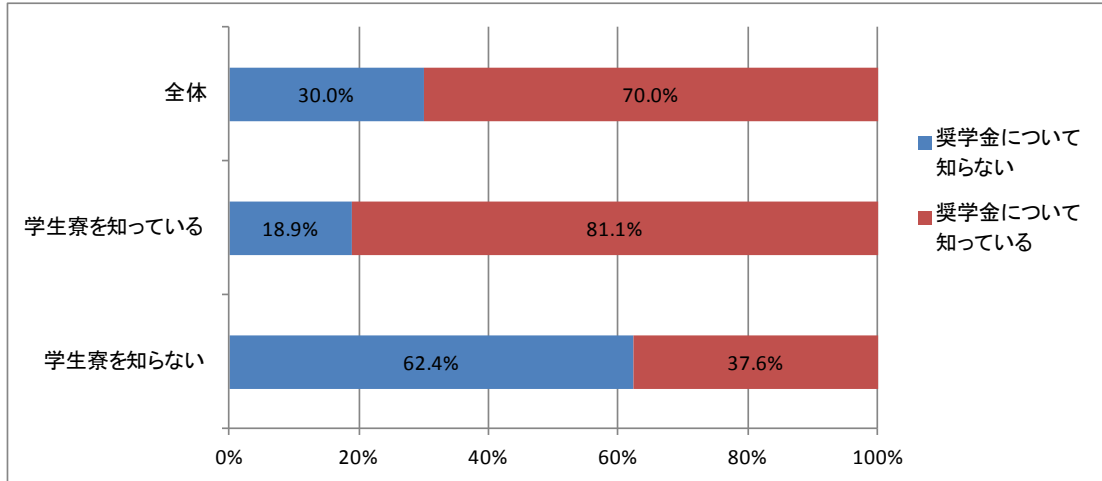


(2) 学生寮を知っている者ほど、奨学金の認知度が高い

次に、学生寮の認知と奨学金の認知に関連があるかを調べました。

その結果、学生寮について認知している場合は、奨学金の認知度が高く、学生寮について認知していない場合は、奨学金の認知度が低いことがわかりました。これは、昨年度と同様の結果であり、入学当初から本学の学生支援についての情報を幅広く認知している者と、ほとんど認知していない者との間に、開きがあるものと考えられます。

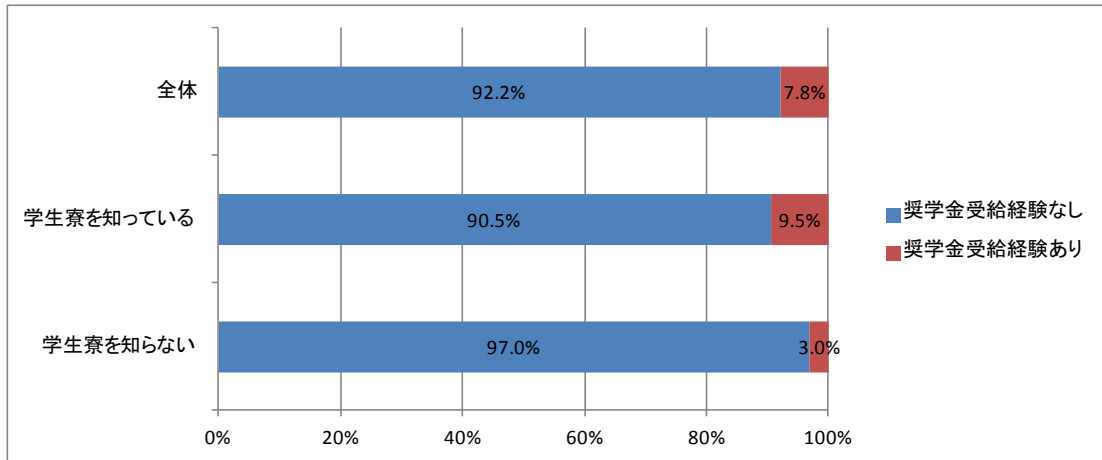
学生寮の認知と奨学金の認知（報告書 p50）



（3）学生寮を知っている者ほど、奨学金の受給経験が多い

さらに、学生寮の認知と奨学金の受給経験に関連があるかを調べました。その結果、学生寮について認知している場合は、奨学金の受給経験が多く、学生寮について認知していない場合は、奨学金の受給経験が少ないことがわかりました。この関連は、昨年度は認められませんでした。今年度では、学生寮の認知と奨学金の受給経験に関連があるものと考えられます。

学生寮の認知と奨学金受給経験（報告書 p51）



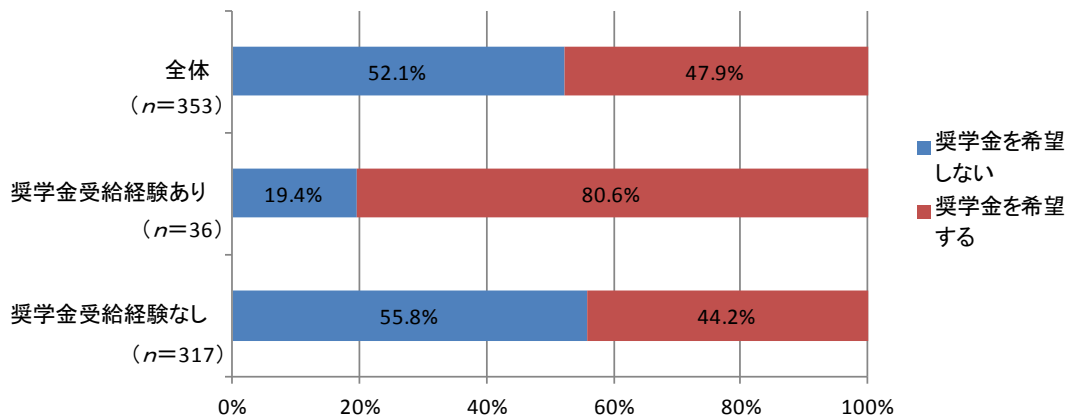
2. 保護者の結果

（1）過去に奨学金受給経験がある者ほど、大学奨学金を希望する割合が高い

次に、保護者の奨学金の希望の有無を調べました。また、過去に奨学金を受給した経験がある者とない者として、大学奨学金の希望の有無に違いがあるかを調べました。

その結果、全体では、約 5 割の保護者が大学奨学金を希望していることがわかりました。また、これまでに奨学金を受給した経験がある場合は、奨学金を希望する割合が高く、これまでに奨学金を受給した経験がない場合は、奨学金を希望する割合が低いことがわかりました。これは、昨年度と同様の結果であり、保護者も新生と同様に、高校までの奨学金受給経験が、大学入学後の奨学金の希望の有無に関係しているものと考えられます。

奨学金受給経験と奨学金の希望（報告書 p52）

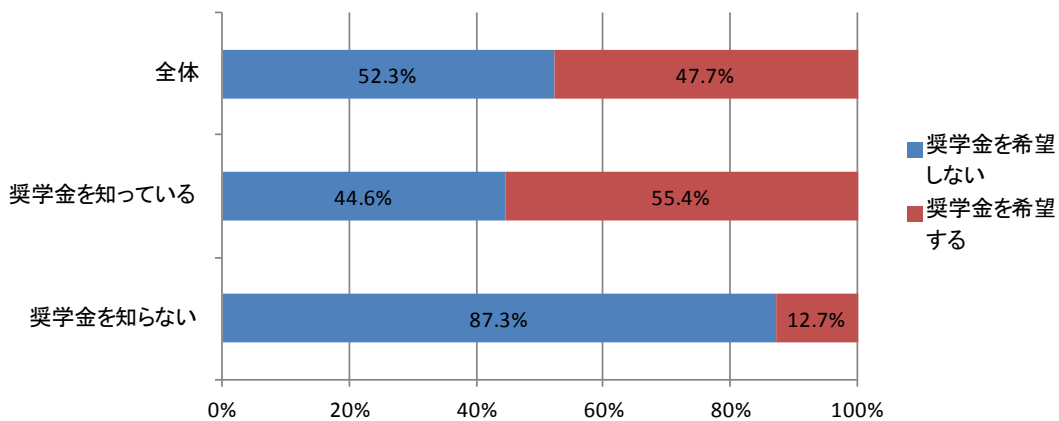


(2) 奨学金について認知している者ほど、奨学金を希望する割合が高い

奨学金の認知と奨学金の希望の有無に関連があるかを調べました。

その結果、奨学金について認知している場合は、奨学金を希望する割合が高く、奨学金について認知していない場合は、奨学金を希望する割合が低いことがわかりました。これは、昨年度と同様の結果であり、奨学金をはじめとした支援の情報を周知させることにより、支援のニーズが高まるものと考えられます。

奨学金の認知と希望（報告書 p52）

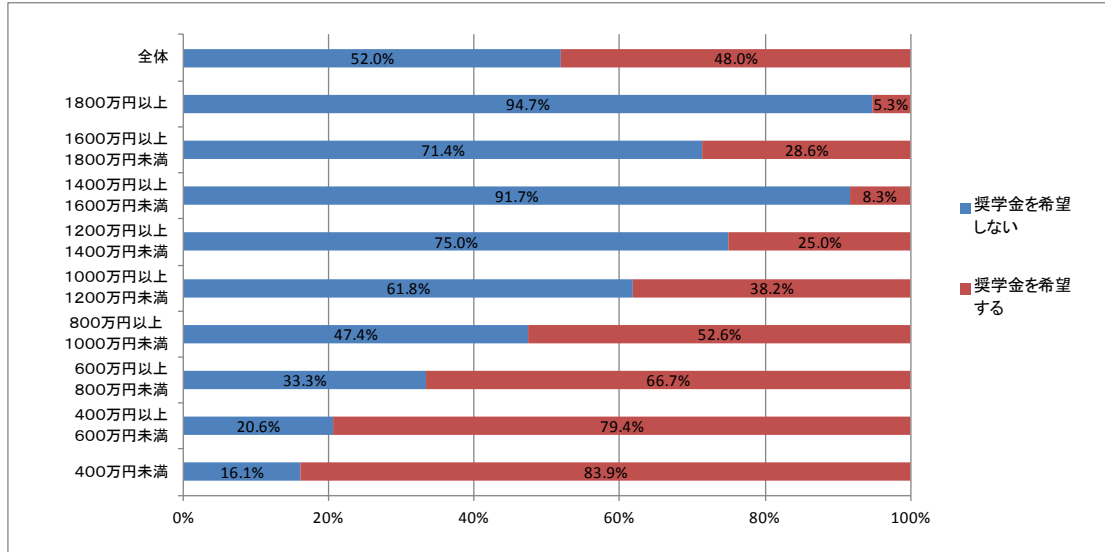


(3) 世帯年収が低いほど、奨学金を希望する割合が高い

世帯年収と奨学金の希望の有無に関連があるかを調べました。

その結果、世帯年収が低い場合は、奨学金を希望する割合が高く、世帯年収が高い場合は、奨学金を希望する割合が低いことがわかりました。これは、昨年度と同様の結果でした。

世帯年収と奨学金の希望（報告書 p53）

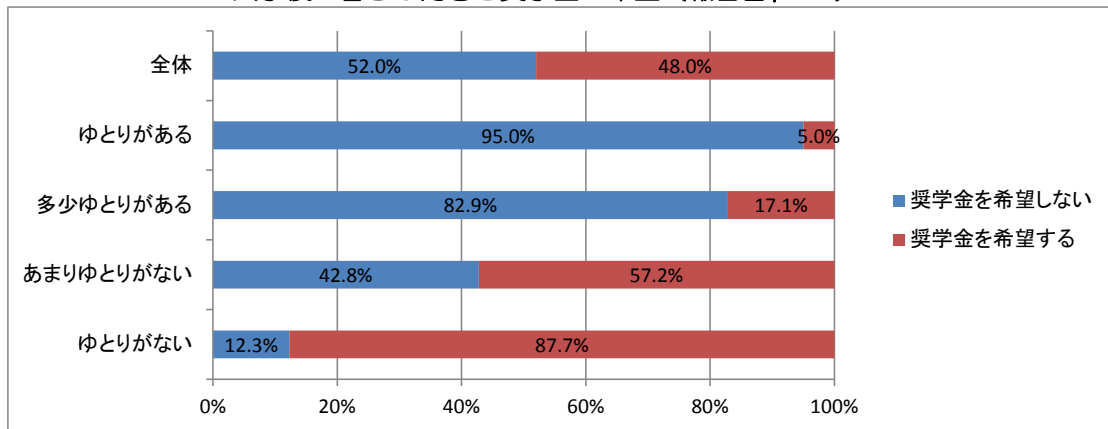


（４）入学後の暮らし向きに余裕がないほど、奨学金を希望する割合が高い

入学後の暮らし向きと奨学金の希望の有無に関連があるかを調べました。

その結果、入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合は、奨学金を希望する割合が高く、ゆとりがあると感じている場合は、奨学金を希望する割合が低いことがわかりました。これは、昨年度と同様の結果でした。

入学後の暮らし向きと奨学金の希望（報告書 p56）



次回は、
「学生寮」について、
ご報告します。



「学生支援センター *Research Report*」としてその一部を紹介いたします報告書は、学生・キャリア支援チーム（内線2646、gakusei@cc.ocha.ac.jp）で冊子入手できるほか、TeaPotからもPDF形式でダウンロードいただけます。（<http://hdl.handle.net/10083/52311>）